

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ナナララ			
○保護者評価実施期間	令和7年11月27日		～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	令和7年11月28日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 7日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様に対して利用児の様子や情報の共有が十分になされている。	HUGシステムを使ったスムーズなやり取り。活動中の様子が分かりやすいように写真の添付を行っています。	HUG上でのやり取りだけでなく、対面でのやり取りを増やしていきたい。
2	利用児が安心して通所されている	活動内容を職員全体で考え、子ども達目線で楽しめる内容としています。	子ども達からの発信を受け止め活動を内容を一緒に考えていけるようにしていきたい。発達支援に関する見識を深めより良い支援を行えるよう研修への参加、事業所内でのケアカンファレンスの実施、グループワーク等を取り入れて行きたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流がすくない	事業所内での活動が多いため交流を持ちにくい	地域の公園や児童センターに出向きこちらから交流をする機会を積極的に持っていきたい。
2	家族、保護者へ目を向けた支援	HUGシステムを使ったやりとりが便利ではあるが保護者や家族と対面して話をきく機会が少ない。	・定期的な面談に加え、いつでも相談できる関係づくりを行っていく必要があります。 ・管理者、児発管による「ほかほか相談室」への周知、運用を積極的に取り入れていく。
3			